

* 離任式

4月3日(金)、転任される6名の先生方から、一人一人の生徒に向け、和工での思い出や期待を込めたメッセージを頂きました。先生方とのお別れは大変寂しいですが、その思いを受け継ぎ「One Team」で頑張っていきたいと思えます。先生方のこれからの人生や赴任先での活躍を祈り、生徒一同拍手でお見送りしました。



* 新型コロナウイルス対策で消毒液を寄贈

4月8日(月)に南海化学株式会社様より手すり・ドアノブ・床等の消毒に効果のある塩素系漂白剤(1箱20kg)3箱を寄贈していただきました。特に新型コロナウイルスだけでなく、ノロウイルスなどにも有効で、アルコールより効果があることが厚生労働省のHPで紹介されています。消毒液が不足する中、大変貴重な製品をご提供いただき、感謝申し上げます。校内の消毒のため、大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



* 入学式

4月9日(木)に7学科352名の新入生を迎え、入学式を挙行了しました。今年の入学式は、コロナウイルス感染症対策のため、急きょグラウンドで行われました。暖かな日差しが降り注ぐ中、学校長からは、「積極的に体験して、実感してほしい」「自分で自分を鍛えてほしい」「自分の得意なことを見つけて、しがみついてほしい」という3つのメッセージが送られました。また、この日を機に高校生活における目標をしっかりと設定し、その実現に向けて、自分ができる最大限の努力を尽くすこと、一日一日を大切に過ごしながら継続してほしいと締めくくられました。それを受け、新入生代表から決意を込めた力強い宣誓がありました。是非、有意義な3年間を送り、地域産業の発展に貢献できる人材、日本の工業界をリードする人材に成長してもらいたいと思えます。



* 和歌山工業高校あるある

和歌山工業高校本館は、6階建て免震構造建築物で平成21年10月に完成しました。1階と2階の間には免震層が存在し、地震による建物の揺れや破壊を防ぐため、地震の力が1階から2階に直接伝わらない構造になっています。本校は、非常災害時、地域の防災拠点としての役割を担っており、本館6階多目的ホールは地域の方々の避難場所にも指定されています。

本館にある免震層内部と免震装置について紹介します。免震層への入口は2階にあり、扉を開けると免震層に続く階段(写真1)があります。下と大人一人が直立できない高さの空間(写真2)が広がっています。その中には、アイソレータ(写真3)やオイルダンパー(写真4)、鋼材ダンパー(写真5)、鉛ダンパー(写真6)など無数の免震装置が備え付けられています。アイソレータは建物を支え、地震の時に建物をゆっくりと移動させる役目を担います。また、ダンパーは建物を支える役割は果たしませんが、いつまでも揺れが続いた場合、それを抑える役目をします。免震層の存在は、建物のいくつかの部分で見ることができます。1つ目は、本館を外から見ると、1階と2階の間に少し隙があることがわかります(写真7)。揺れが生じたとき、1階のエネルギーを2階より上に伝えるのを防ぐ構造になっています。2つ目は、東西にある階段の1階部分が地面と接地されずに隙間が空いています(写真8)。これも地震の揺れを上層部に伝えるにくくするための構造で、このように本館は、地震や津波(津波については、3階以上に避難が必要)から命を守る建築物として重要な役割を担っています。

